

蘇原第二小学校 学校だより

# きぼうのいずみ

第 1 2 号 R 2.2.2 1

学校・家庭・地域でいじめをなくしましょう。



蘇二小のマスコット「そにっこり」です。美しい歌声と笑顔の妖精です。

## 東日本大震災から 9 年

校長 鷺見隆司

「悲しい気持ちが消えないのですが、どうしたらいいですか？」

震災の年の 2011 年 10 月のある日。4 年生の S さんが、私のところに相談にきて、泣きながら話しました。表面的には元気な子どもたちも、心に大きな悲しみやつらさを抱えていました。

東日本大震災が起こった 2011 年 7 月。私は、東日本大震災復興支援教員として蘇原第二小学校から宮城県東松島市の矢本東小学校に派遣されました。「震災後の子どもたちの心のケア」を行うためです。傷ついた子どもたちの心をケアし、笑顔を取り戻すこと。それが、震災復興支援教員である私の一番のミッションでした。

10 月。私は、子どもたちの心のケアのために相談室を開設しました。相談室の名前は「ひまわり相談室」。この夏、被災地の人々が復興への願いを込めて育てたひまわりに、子どもたちの心の復興を託したいと考えたからです。

私が「ひまわり相談室」を開設して 3 日間で、15 件もの相談が児童や保護者から寄せられました。これは、私の予想以上でした。中には、「震災で亡くなったお父さんのことを思い出してつらくなる。」「夜になると震災のことを思い出し、小さい地震でも目が覚めてしまう...。」と震災後の悲しみやつらさを訴える子もいました。表面的には何も問題はないと思っていた子どもたちの訴えに、震災が子どもたちに与えた心の傷の大きさを知ったのでした。

前述の S さんは、友達を津波で亡くし、「週に 2 回ぐらい、家の中に一人取り残された友だちが津波で流される夢を見る。」と泣きながら話しました。学校では、明るく生活しているように見える子どもたちも、夜布団に入って一人になったとき、いろいろなことを考えてしまうようでした。そして、その自分のつらさや悲しみを家族にも言えずに、自分一人で抱え込んでしまっている子もいました。S さんも、「今まで家族にも誰にも話していない。先生に話したのが初めて。」と打ち明けてくれました。

私は「つらいことや悲しいことは一人で抱え込まずしたり、学校へ行けなくなったりした子にも、誰かに話すと気持ちが楽になるよ。」「泣きたいときは我慢せずに、泣いてもいいんだよ。」と子どもたちに話していきました。悲しみやつらさは、表現しないと消化することができないからです。そして、相談を受けながら、子どもたちが安心して自分の気持ちを話せる場を設け、子どもの心に寄り添いながら、心のケアを行っていくことの重要性を改めて感じたのでした。

私は休み時間はいつも相談室にいて、子どもたちが話しに来るのを待っていました。相談ポストに寄せられた児童や保護者の相談は、私を中心に全校職員で応じていきました。また、震災で家族を亡くし元気をな



<ひまわり相談室>

くしたり、学校へ行けなくなったした子もいました。私は相談室で面談するだけでなく、家庭訪問をして、少しでも子どもたちの心に寄り添うことができるようにしていきました。

子どもたちの中には、夜中に怖い夢を見てパニックになるというようなPTSD症状を示す子もいました。そういう子どもたちは、専門機関として、東松島市に震災直後から常駐していた東京大学の医療チームを紹介しました。そこで、医療的、臨床心理的な治療を受けてもらうと同時に、東京大学の医療チームとは月に1回学校との定例会議を開き、情報交流をしたり、学校での対応の仕方を助言してもらったりしました。

3月15日。東京大学の医療チームとの最後の定例会議の日。医療チームのドクターに、「私が言うのも何ですが、鷺見先生本当にありがとうございました。」と言われました。子どもたちにとって専門家が関わることも大切であるが、それ以上に、いつでも子どもたちのそばにいて、話を聞いてくれる先生の存在が大きかったということでした。

2012年3月31日。私の派遣は終わりました。あまりにも大きな震災の前に、子どもたちが背負っているものの重さに、何度も自分の無力さを感じた9ヶ月間でした。しかし、その度に「私は微力ではあるが、無力ではない。」と言いつけてきました。被災地の子どもや先生方、保護者、地域の方との交流は今も続いています。

東日本大震災から間もなく9年が経とうとしています。被災地では、復興も進み、平穏な日々が戻ろうとしています。しかし、未だに消し去ることのできないつらさや悲しみを抱えている人々がいることを、私たちは決して忘れてはいけないと思います。そして、震災の記憶を風化させることのないよう、私は3月11日に自分の体験を子どもたちに語り、9年目のそのときを迎えようと思っています。

## 2年生の「まちたんけん」

2年生が生活科の学習で、ろっけん通りを「まちたんけん」しました。

子どもたちは、「たんけん」の目で、お店の様子を見たり、質問をしたりして、そこで生活したり働いたりしている人々について知ることができました。

自分たちの生活は様々な人や地域とつながっていることが分かり、「じぶんたちのまち」にさらに親しみをもつことができました。

＜多くのお店の方にご協力いただきました。＞

加藤用品店さん・フレンドリーサカイさん・花豊さん・豆腐屋あだちさん・郵便局さん・セブンイレブンさん・ピノキオ薬局さん・旭写真館さん・まつ寿司さん・松月虎屋さん・保護者ボランティアのみなさん ありがとうございます。



## 3月行事予定

- 3日（火）新通学班長会
- 4日（水）6年ありがとう集会①②  
通学班会議・一斉下校
- 5日（木）児童委員会⑥
- 6日（金）PTA本部役員会  
PTA企画・専門委員会  
PTA学級委員会
- 11日（水）全校集会⑤（東日本大震災追悼）
- 17日（火）卒業式練習Ⅰ
- 20日（金）＜春分の日＞
- 23日（月）卒業式練習Ⅱ



- 24日（火）卒業式準備（午後）
- 25日（水）卒業証書授与式
- 26日（木）修了式・離任式

27日（金）～ 学年末休業日



- 4月7日（火）始業式・入学式
- 4月18日（土）授業参観・PTA総会  
・希望者懇談を4月下旬ごろ予定しています。  
（詳細は、4月8日ごろお知らせします）